

2020年7月14日

木材業景況調査結果

第430回（令和2年6月分）

(一社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

6月は、販売量・仕入量については、流通部門・製造部門とも大きく減少した。販売価格・仕入価格については、流通部門では下降傾向、製造部門では下降した。

7月は、販売量・仕入量については、流通部門・製造部門とも減少の見通し、販売価格については、流通部門・製造部門ともやや弱含みの見通し、仕入価格については、流通部門ではやや弱含み、製造部門では弱含みの見通しである。全体的に、前回に引き続き量は減少、価格は弱含みの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材については、流通部門・製造部門とも弱含みの予想、南洋材については、流通部門ではやや弱含み予想、製造部門では弱含み予想である。また、北洋材（欧州材を含む）、国産材については、流通部門・製造部門とも弱含み予想である。建材も弱含み予想である。

新型コロナの影響が大きく響き前月に続いて今月も取扱量の減少、価格は下降しており、今後の見通しについても今の状況が続くとの見方が大半である。夏までは厳しい状況が続くが、秋からは大手住宅メーカーの受注によりプレカットの稼働率上昇が期待される。

景況調査

令和2年6月分集計表 ()内は実数

モニター数124 回答98 回収率79%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加13% (13)	変わらず37% (36)	減少49% (48)
仕入量	増加18% (17)	変わらず34% (33)	減少48% (47)
販売価格	上昇 2% (2)	変わらず81% (79)	下降16% (16)
仕入価格	上昇 2% (2)	変わらず72% (70)	下降26% (25)

来月の見通し

販売量	増加12% (12)	変わらず53% (51)	減少35% (34)
仕入量	増加10% (10)	変わらず56% (54)	減少34% (33)
販売価格	強含み 1% (1)	保ち合い85% (82)	弱含み14% (14)
仕入価格	強含み 0% (0)	保ち合い81% (79)	弱含み19% (18)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	3% (2)	57% (42)	41% (30)
南洋材	5% (3)	76% (48)	19% (12)
北洋材(欧州材を含む)	3% (2)	69% (44)	28% (18)
国産材	2% (2)	60% (55)	38% (35)
建 材	4% (3)	60% (42)	36% (25)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	46% (31)	53% (36)	1% (1)

〔製造部門〕

モニター数128 回答数102 回収率80%

当月の状況

販売量	増加22% (22)	変わらず31% (32)	減少47% (48)
仕入量	増加16% (16)	変わらず35% (36)	減少49% (50)
販売価格	上昇 1% (1)	変わらず65% (66)	下降34% (35)
仕入価格	上昇 2% (2)	変わらず53% (54)	下降45% (46)

来月の見通し

販売量	増加14% (14)	変わらず36% (37)	減少50% (51)
仕入量	増加13% (13)	変わらず37% (38)	減少50% (51)
販売価格	強含み 2% (2)	保ち合い71% (72)	弱含み27% (28)
仕入価格	強含み 1% (1)	保ち合い68% (69)	弱含み31% (32)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	6% (2)	43% (15)	51% (18)
南洋材	4% (1)	64% (16)	32% (8)
北洋材(欧州材を含む)	7% (2)	38% (11)	55% (16)
国産材	3% (3)	40% (38)	56% (53)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	66% (27)	32% (13)	2% (1)